慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	中鉢正美名誉教授著作目録
Sub Title	A bibliography of the writings of Prof. Masayoshi Chubachi
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1986
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.78, No.6 (1986. 2) ,p.809(161)- 814(166)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	中鉢正美教授退任記念特集号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19860201-0161

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

中鉢正美名誉教授著作目録

〔著書・共著・編著〕

『家庭経済論』「家庭科学全書2」(篭山京と共著)　国土社　1950年
『家庭生活の構造——生活構造論序説——』　好学社　1953年
『生活構造論』　好学社　1956年
『家族周期と児童養育費』「社会保障研究所研究叢書3」　至誠堂　1970年
『家計調査と生活研究』「生活古典叢書7」　光生館　1971年
『家族周期と家計構造』「社会保障研究所研究叢書4」　至誠堂　1971年
『老齢保障論』(共編)　有斐閣　1975年
『現代日本の生活体系』　ミネルヴァ書房　1975年
『高齢化社会の家族周期』「社会保障研究所研究叢書8」　至誠堂　1976年
『ソ連の消費水準——西側諸国との比較』(フィリップ・ハンソン著，金田良治訳，中鉢監訳)　ミネルヴァ書房　1977年
『家族周期の世代間扶養』「社会保障研究所研究叢書9」　至誠堂　1978年

〔論文・その他〕

ガムシノ観察　慶應普通部博物趣味の会『会報』4号　1935年2月
貝の研究(1)　同『会報』5号　1935年
貝の研究(2)　同『会報』6号　1935年6月
腹足類の研究(3)　同『PROTOPLASM』8号　1935年11月
腹足類の研究(4)　同『PROTOPLASM』9号　1936年2月
腹足類の研究(5)　同『PROTOPLASM』10号　1936年3月
腹足類雑記　同『PROTOPLASM』10号　1936年3月
八丈島の腹足類　同『PROTOPLASM』11号　1936年10月
腹足類の研究(2)——八丈島の腹足類に就て——　同『PROTOPLASM』12号　1936年11月
腹足類の研究(6)　同『PROTOPLASM』13号　1937年3月
腹足類の研究(7)　同『PROTOPLASM』15号　1937年12月
労働者住宅問題に関する一試論　「理財学会論文集」第7号　1942年
選択理論に関する一試論　「理財学会論文集」第8号　1943年
エンゲル法則の動態的意義　「三田学会雑誌」　1946年10月
トコブシ Haliotis japonica REEVE の分類に就て　「夢蛤」　1947年4月
家計構造の変動に於ける履歴効果の問題　「労働問題研究」　1947年11月
生活研究の発生—イーデンの貧民状態について—　「三田学会雑誌」　1948年10月
生活法則と履歴効果　「労働問題研究」　1948年11月
生活の動態における主観価値の問題　「労働問題研究」　1950年5月
最低生活の構造的限界　「労働問題研究」　1950年7月
(書評)　東京大学社会科学研究所編『戦後労働組合の実態』　「三田学会雑誌」　1950年11月
展望：社会政策学会の動向　「労働問題研究」　1951年4月

戦後わが国民生活の変動過程　「三田学会雑誌」　1951年9月
生活の基本的構造について―社会保障の基礎的単位に関する一考察　「健康保険」　1951年12月
貧困の類型　「社会保険時報」　1952年6月
貧困の態様　「社会保障研究」　1952年12月
（書評）　F.ベーレンス著　石津英雄訳『近代経済学の生誕』―ゴッセンへの批判　「三田学会雑誌」　1953年12月
（書評）　平田冨太郎著『社会政策論研究』　「三田学会雑誌」　1954年1月
医療報酬と医師の最低生活費　「社会保険時報」　1954年4月
戦後および戦前における都市労働者家計の比較（藤林敬三教授と共同執筆）有沢広巳編『日本の生活水準』　東京大学出版会　1954年7月
（書評）　J.A.C.ブラウン著『社会心理学』　「三田学会雑誌」　1954年10月
医業経営と医家の生活費　「月刊社会保障」　1955年8月
保険原理を認めつつ手を拡げた感―七人委員会の報告書を読んで　「月刊社会保障」　1955年11月
社会政策と労働の人間的構造―いわゆる「賃労働の理論」によせて　「三田学会雑誌」　1955年12月
需要と供給の合理性に立て　「月刊社会保障」　1956年2月
（書評）　孝橋正一著『社会事業入門』　「社会事業」　1956年4月
いわゆるボーダーライン層の概念について　「社会事業」　1956年7月
経済心理学における同型理論Ⅰ　「三田学会雑誌」　1956年7月
五人委員会の立場　「月刊社会保障」　1956年9月
貯蓄の理論と経済心理学　「貯蓄時報」　1956年10月
経済心理学における同型理論Ⅱ　「三田学会雑誌」　1957年1月
社会政策と医療保障　「月刊社会保障」　1957年1月
医療制度の問題点　「共済時報」　1957年2月
社会政策と生活構造　「三田学会雑誌」　1957年6月
医業経済と医療費の問題　「日本公衆衛生学雑誌」　1957年6月
経済福祉論の抬頭とその本質　「経営者」　1957年7月
医療保障―国民皆保険の基礎条件　「都市問題」　1957年12月
最低生活費の経済学的意味　「三田評論」　1957年12月
社会保障と社会階層の理論　「三田学会雑誌」　1958年2月
医療費の公示がもたらす問題点　「共済時報」　1958年8月
社会保障の条件　「月刊社会保障」　1958年12月
医療保障のゆくえ　「共済時報」　1959年2月
医療費負担能力の限度　「社会保険旬報」　1959年2月
社会政策と使用価値の循環　「三田学会雑誌」　1959年6月
医療制度の「社会化」　「健康保険」　1959年7月
特別区の国保実施―都区の密接な結合を望む　「区政春秋」12号　1959年
（書評）　ジョージ・カトナ著『経済を動かす消費者』　「三田学会雑誌」　1960年1月
健康保険と国民総医療費（講座社会保障第2巻『日本経済と社会保障』所収）　至誠堂　1960年1月
社会保険と社会福祉事業の関係（講座社会保障第4巻『日本における社会保障制度の現実』所収）　至誠堂　1960年3月
経済心理学における場の理論　「三田学会雑誌」　1960年3月

（書評） 大河内一男・篭山京著『家庭経済学』 「三田学会雑誌」 1960年2月
アフター・エフェクト仮説による最低生活水準の測定（藤林敬三博士還暦記念論文集『労働問題研究の現代的課題』所収） ダイヤモンド社 1960年11月
疾病と家計 「厚生の指標」 1961年1月
生活構造論の基礎的問題点 「日本労働協会雑誌」 1961年3月
社会政策と生活構造 「三田学会雑誌」 1961年5月
医療保障と医療制度 「健康保険」 1961年5月
保護基準改訂の後にくるもの 「共済新報」 1961年7月
タマキビの曲芸 「ちりぼたん」 1961年12月
社会保障底上げの意図と問題点 「月刊社会保障」 1962年2月
イボニシの貪食 「ちりぼたん」 1962年3月
経済学と生物 「社会保険」 1962年4月
最近の物価と生計費 「中央労働時報」 1962年5月
物価騰貴下の国民生活 平和経済計画会議 経済白書委員会編「昭和37年度国民の経済白書――高度成長の破綻と帰結」 平和経済計画会議 1962年8月
低所得階層における低所得の限界の設定に関する研究（報告書）―生活構造論的接近方法― 東京都社会福祉会館 1963年7月
労働経済論における藤林教授の業績 「三田学会雑誌」 1963年7月
労働者政策と社会政策―藤林教授の社会政策論について― 「三田学会雑誌」 1963年11月
最低生活水準の論拠（『賃銀・生計費・生活保障』） 「社会政策学会年報」 1963年12月
Structure and Function of the Worker's Family Living Keio Economic Studies Vol. 2 1964年
日米買物行動の比較 「三田評論」 1964年7月
リスと遊ぶ 「三田評論」 1964年8月
（書評） ミカエル・ハリングトン著『もう一つのアメリカ―アメリカ合衆国における貧困』 「三田学会雑誌」 1964年9月
「労働の人間的構造」と労働者生活の構造 「経済学年報」第7集 1964年
アメリカの貧困問題 「季刊社会保障研究」 1965年6月
社会保障と社会開発 「健康保険」 1965年8月
所得分布の生活構造分析 「厚生の指標」 1965年9月
貧しいアメリカ 「日本」 1965年11月
生活水準国際比較の問題点 「三田学会雑誌」 1965年12月
家内労働の動向とその対策 「日本労働協会雑誌」 1966年8月
比較と批判の座標軸を―国民生活研究に何を望むか 「国民生活研究」 1966年10月
経済開発と地域社会 「三田評論」 1966年12月
仏像と能面 「三色旗」 1967年3月
生活構造論における地域的条件の問題―生活構造の変動と貧困の形態変化 「社会福祉学」 1967年3月
合理化政策の体系化と貧困の形態変化―戸木田嘉久「現段階における『合理化』の特質」に対するコメント 「社会政策学会年報」 1967年6月
小さな助言 「慶應義塾大学報」 1967年7月
模範答案 「慶應義塾大学報」 1967年7月
津田真澂著「アメリカ労働組合の構造」―日米の構造比較を存分に解明 「季刊労働法」 1967年9月

賃金と社会保障（現代労働問題講座『賃金政策』所収）　有斐閣　1967年11月
現代の最低生活水準　「季刊社会保障研究」　1967年12月
生計費解説（『団体交渉のための賃金資料』1968年度版所収）　総合労働研究所　1967年12月
低所得世帯の生活周期　「厚生の指標」　1968年1月
課題の設定〔標準生活設定に関する基礎的研究（報告書）〕　国民生活研究所　1968年3月
生活構造の変化と社会福祉　「社会福祉研究」　1968年11月
（書評）近藤文二編『社会保障入門』　「季刊社会保障研究」　1968年12月
被爆者生活の構造的特質—広島地域における面接調査を中心として　「三田学会雑誌」　1968年12月
貧困の型態変化と社会福祉—さいきんの生活関係白書から　「月刊福祉」　1968年12月
社会保障と国民生活（『社会保障論』所収）　有斐閣　1968年12月
社会保障の社会経済的条件（同上）　有斐閣　1968年12月
明治17年の標準生活—「報徳学斉家談」と「興業意見」　「三田評論」　1969年1月
家内労働問題の背景　「日本労働協会雑誌」　1969年3月
パートタイム雇用の労働条件と管理—労働省パートタイム雇用専門家会議の報告　「労働法学研究会報」　1969年3月
学生生活の今昔　「慶應義塾大学報」　1969年4月
医者と患者の間　「週刊社会保障」　1969年6月
The Relationship between the Damage on the Bodies, Household Structures and Social Livings of Atomicbomb Survivals and the Process of their Rehabilitation.　Keio Economic Studies, Vol. 6, No. 1　1969年
学園改革と反体制闘争　「慶大通教新聞」　1969年10月
43年度研究の問題点〔標準世帯の生活費とその問題点（報告書）〕　国民生活研究所　1969年11月
慶應義塾における学園紛争　「カオスの眼」第5号　1969年12月
私学の改革　「塾」　1970年1月
学部改革のあゆみ　「慶應義塾大学報」　1970年2月
標準生活費について，調査対象の選定と調査計画〔標準生活費に関する研究（報告書）〕　国民生活研究所　1970年3月
おまつりの季節　「三田会111」　1970年3月
序にかえて　「大学の砦」Vol. 2　1970年4月
共同研究テーマの設定　「カオスの眼」第6号　1970年12月
大学改革への基本的姿勢　「慶大通教新聞」　1971年1月
戦後労働者生活の構造変化　生活構造研究会　1971年3月
新しい塾員諸君におくる　「三田会112」　1971年3月
（五人の塾長）奥井復太郎　「塾」　1971年4月
父兄に一言　「塾」　1971年4月
大学改革の回顧と展望　「慶應義塾大学報」　1971年4月
序にかえて　「大学の砦」Vol. 3　1971年4月
ゼミナール委員会の質問によせて　「大学の砦」Vol. 3　1971年4月
経済福祉と社会福祉（社会保障研究所シンポジウム　レポート）　「季刊社会保障研究」　1971年7月
遠い路（学部長所感集）　自家出版　1971年7月
国民生活の変化と生活保護制度　「週刊社会保障」　1971年8月

生活構造論おぼえがき　「三田学会雑誌」　1971年10月
（書評）舟橋尚道編著『基準生活費の研究』　「日本労働協会雑誌」　1971年11月
研究者の立場からの提言　「KULIC」No. 3　1971年11月
生活構造論と社会福祉（『篭山京教授還暦記念論文集』所収）　光生館　1972年1月
共稼ぎの行方　「三田評論」　1972年1月
（書評）小谷義次著『アメリカ資本主義と貧困化理論』　「季刊社会保障研究」　1972年3月
心象経済学（新版　学問のすすめ 11）　「慶應塾生新聞」　1972年5月
平恒次さんのこと　「塾」　1972年8月
小国日本　「予防医学ジャーナル」　1972年9月
老齢期問題の展望　「社会福祉研究」　1972年10月
生活構造変化の現代的課題　「三田学会雑誌」　1972年10月
（書評）津田真澂著『日本の都市下層社会』　「日本労働協会雑誌」　1973年1月
老年の環境は個別的である　「ねんきん」　1973年2月
人間・環境系研究会の中間報告　「三田学会雑誌」　1973年8月
現代における貧困の意味　「季刊社会保障研究」　1974年3月
博物学教室の日々　「普通部会誌」　1974年3月
ライフ・サイクルと消費パターン　「統計」　1974年6月
わが読書遍歴　「三色旗」　1974年7月
ライフ・サイクルと老後の所得保障　「週刊社会保障」　1974年8月
貝　「三田評論」　1974年8・9月
とりのこされる保護行政　「生活と福祉」　1974年9月
貧困と社会保障（『現代の福祉政策』所収）　東京大学出版会　1975年1月
生活構造変動の理論（『現代日本の労働者』所収）　日本評論社　1975年2月
社会保障のフローとストック　「週刊社会保障」　1975年2月
福祉年金と老齢加算　「生活と福祉」　1975年3月
老後の経済生活（『高齢化社会を考える』所収）　総理府　1975年3月
福祉サービスの体系化　「週刊社会保障」　1975年4月
老人扶養の転換点　「週刊社会保障」　1975年6月
高福祉・高負担の意味　「週刊社会保障」　1975年8月
世代間扶養の生活設計　「週刊社会保障」　1975年10月
フローとストック最低基準　「生活と福祉」　1975年10月
人口と生活様式（『20世紀の様式』所収）　講談社　1975年11月
産業化の原点における生活構造（『生活学』第1冊所収）　ドメス出版　1975年12月
社会保障の半世紀　「週刊社会保障」　1975年12月
（書評）関口末夫編『日本の貧困』―生活水準の分布と国際比較　「日本労働協会雑誌」　1976年1月
老齢化社会の福祉　「三田評論」　1976年2月
経済社会の変動と福祉問題　「月刊福祉」　1976年2月
講義・わたしたちの暮らしと日本経済，シンポジューム・社会福祉における高福祉・高負担（『第五回社会福祉講座講義録　社会福祉における高福祉・高負担』所収）　北海道社会福祉協議会　1976年3月
調査結果の概要，調査対象の属性，創業の事情および動機〔家内労働の実情（報告書）〕　東京都労働局　1979年3月

生活構造の近代化（『社会保障の近代化』所収）　勁草書房　1976年7月
福祉労働の評価　「季刊社会保障研究」　1976年7月
福祉の転換期とは　「生活と福祉」　1976年10月
生産と労働（講座比較文化4『日本人の生活』所収）　研究社　1976年11月
医療需要の主体，人口の世代的構造〔国民の医療・保健の実態と動向の総合的研究（報告書）〕　国際医学情報センター　1976年11月
戦後生活構造の変貌（『戦後社会福祉の展開』所収）　ドメス出版　1976年12月
Poverty in Modern Japan: Perception and Realities (Hue Patrik: Japanese Industrialization and its social consequences)　Univ. of California Press　1976年
老人福祉の問題点　「三田評論」　1977年4月
生活構造論からみた家族　「ジュリスト」　1977年4月
ライフ・サイクルと社会福祉（『ライフサイエンスの進歩』第四集所収）　春秋社　1977年9月
日本生活研究小史　「社会事業史研究」　1977年10月
Comments on Social Aspects: Gerontology and Geriatrics in Asian and Oceanian Countries. Asian Medical Journal　1977年12月
（座談会）今後の年金体系のあり方をめぐって　「季刊老人問題」　1978年3月
現代における「新しい貧困」とその対策　「社会福祉研究」　1978年4月
被爆者の世代的再生産と被爆者人口の構成について　「広島医学」　1978年4月
被爆による家族の崩壊，被爆人口の全般的特質，高齢化の加速（『被爆の実相と被爆者の実情』所収）　朝日イブニングニュース社　1978年9月
普通部時代の思い出　慶應義塾普通部「労作展第50回記念」　1978年9月
生活調査と保健行政（『生活学』第四冊所収）　ドメス出版　1978年12月
社会学的アプローチのコメント（『第4回アジア・大洋州医師会連合（CMAAO）総会学術集会記録　アジア太平洋諸国における老人学および老人医学』所収）　日本医師会　1978年
高齢者社会の世代間扶養　「三田評論」　1979年3月
生活構造論今昔　「慶應義塾大学報」　1979年4月
婦人問題討論会　婦人の人権の現状について考える　「人権通信」　1979年4月
社会の組織・機能の壊滅（『広島・長崎の原爆災害』）　岩波書店　1979年7月
職業の問題（同上）　岩波書店　1979年7月
被爆者の婚姻（同上）　岩波書店　1979年7月
生活苦悩（同上）　岩波書店　1979年7月
被爆者の生活変動（同上）　岩波書店　1979年7月
貧乏の経済学（『経済学大辞典』所収）　東洋経済新報社　1980年4月
医療の需要から　「Life Science」　1980年11月
生活構造の変動と定着（社会保障講座5『生活と福祉の課題』所収）　総合労働研究所　1981年9月
高齢化社会と福祉政策　「三田評論」　1981年12月
国立市あたりの想い出　「慶應義塾大学報」　1981年12月
（書評）布施鉄治編著『地域産業変動と階級・階層』——注目に値する炭都・夕張の生活構造的解明　朝日ジャーナル　1982年6月11日号　Vol.24　No.25　朝日新聞社　1982年6月
生活構造論の提唱　「三田学会雑誌」　1985年8月

本業績目録は『近代日本の生活研究』（光生館）の「年譜および業績」によった。